

# 教育大綱検討委員会（第1回）議事概要

- 1 開催日時 平成30年8月27日（月）13：30～15：30
  - 2 会場 池田町能楽の里文化交流会館2階 大会議室
  - 3 出席者 委員10名 行政 3名 事務局 3名 計16名（欠席者なし）
  - 4 開 会
  - 5 町長あいさつ
    - ・昨年に中学校で発生した出来事に対して行政として反省し、教育の在り方について振り返った。それで、教育大綱の見直しを行うとともに、教育環境向上化プランを策定・実行することとした。
    - ・教育大綱は池田町の教育の指針として、池田町に合ったものとしたい。
    - ・学校教育についての課題は、地域全体で考えなければはならないと考えている。
    - ・小規模な地域の利点をどのように生かし、弱点をどのように乗り越えるかということを議論していただきたい。
    - ・社会のひずみは子どもの姿に出る。
    - ・学校現場の良い取組を生かしながら、新たな指針についてご議論いただきたい。
  - 6 委員自己紹介
  - 7 委員長選任  
関委員が委員長に選任される。
  - 8 協議事項（進行：委員長）
    - (1) 教育大綱改訂の趣旨について  
教育長より説明
      - ・学校教育に重点を置き、池田町の地域の特性を生かした大綱にしたい。
      - ・2月中にはまとめ、次年度から5年間の大綱としたい。
    - (2) 意見交換
- 委員長**  
配布してある資料を見て、ご質問やご意見、感想などを伺いたい。

#### 委員

保護者アンケートで、部活動や活動についての意見は参考になる。

#### 委員

中学校で主任と担任の指導の連携がとれていないため、混乱することがあった。

#### 委員

2人体制で学級を見ることの良さを狙っているが、統一した指導にならないこともある。それで、連携を強化するとともに、主となる教員を明確にして指導を進めたい。

#### 委員

服装のきまりについて、袖まくりがなぜいけないのかわからない。

#### 委員

子どもはおしゃれを意識してか半袖を着たがらない。半袖を着ないと先生に注意されると怖がっているところもある。これは池田特有な感じがする。

#### 委員

池田中学校の決まりに袖を折ってはいけない決まりはないが、そのような指導をしたのは事実。暑い時には長袖を着て袖をまくるのではなく、半袖を着なさいということ指導している学校があり、教員の他校での経験から、そうするのが当然だと思っていたようだ。職員の統一した指導に努めたい。池中にはあまり厳しい決まりはない。理由があれば認めている。ルールについて、生徒会活動などで取り上げられるとよい。

#### 委員

そういった事を子ども達にも伝えてほしい。

#### 委員長

子ども達がどのように育ってほしいのか、その為に地域はどのようなことができるのか考えていきたい。

#### 委員

自分の職場ではあいさつの出来ない若い子が多い。かつては地域の中で、あいさつのキャッチボールができていたが、最近の自分の会社ではできなくなっている。子どもの頃からあいさつの輪が広がるといい。地域での取り組みができると変わるだろう。

#### 委員

アンケート結果では、「友達や先輩後輩、先生との関係が良い学校が子どもにとって楽し

い学校」ということが第一となっている。この地域だからこそ、子どもの小さな心で人の顔をうかがい、一言が言えないような辛い人間関係ではなく、楽な関係を築けたら良いと思う。子どもの心を弾力あるものに育てないと、ちょっとしたことで折れてしまう。池田町は、思いが楽に伝わったり、思ったことが楽にできたりする地域だと思うので、子どもが思いを自由に述べられる人間関係づくりについて、家庭や地域で取り組めると良い。

#### 委員長

「この地域だからできること」「人間関係」ということに着目していきたい。

#### 委員

学校ではあいさつができるが、地域の中ではなかなかできない。人数が少ないので、クラス内のグループから外れるとなかなか戻れないということもあるようだ。

#### 委員

アンケートでその他と答えた方は自分の意見を書かれていると思うので、何が書かれているのか知りたい。今後の小・中の人数がどうなっていくのか、それによって体育など授業の形や部活動などで変わってくる部分があると思う。

#### 委員

子どもから聞いた話だと、少人数だと友達関係のことなど先生に素直に話せない。子どもなりにストレスを感じていて、考えながら生活をしている。池田は少人数で先輩後輩関係があまりない。縦と横の関係はもっと必要ではないか。

#### 委員

気遣い気配りしながら育ってきている感じは教員から見てもあるように感じる。いろいろありながらも、子どもたちは頑張っている。

#### 委員長

地域の中での人間関係はどうか。

#### 委員

昔は地域の祭りでも子どもたちがたくさんいた。今は小学生が少ないが、ネットワークを通じて他地区から連れてきてくれる。

#### 委員長

この地域だからこそできる強み、地域の良さを生かした教育大綱について考えていくこととしたい。

## 委員

こども園から小学校にあがる時に町外へ出てしまう人がいる。なぜ出て行ってしまうのか。

少人数だと、「この子は頭がいい子」「この子は足が速い子」など評価が決まってしまう。その為なのか競争心ができないと言われている。子どもは素直で純粋である。

## 委員

町外に出る理由として、池田ではできないことが他ではできるといったことがある。教育の面では1対1で良い面もあるが、他にやらせたいことがあり、他の町の子どもに遅れをとりたくないと思う親もいる。ボルダリングはいつでもできるという良さがある。もっと池田でもスポーツの幅を広げて、選べる環境があったらよい。

## 委員

自分自身マンモス校に通っていたので、最初は池田の学校はいいなと思っていた。でも最近是人と人の距離が近すぎて、逆に離れたがっているのかもしれない。運動会で保護者テントとは別に個人のテントをたてている方が増えた。親同士のつながりが薄れてきているのだろうか。

## 委員

女子が5人だけという学年では仲が良く、常に5人で行動している。保護者も5人が一緒に行動することに協力している。

## 委員

きっかけは分からないが個人のテントは年々増えているような気がする。

## 委員

子どもが小さい時は親同士が仲良くいろいろな相談をするが、子どもが大きくなってくると少し離れてみたいと思うのかも知れない。池田町内に勤めていると余計に感じるのではないか。

## 委員

母親クラブの会員も減ってきている。役を受け持つのが嫌で入らない場合もあるようである。

## 委員

母親たちは劇団などの活動もあり、うまくいっているように思う。

## 委員長

小規模の良さがあれば、そのマイナス面もあるようだ。小規模のデメリットを改善しながら、メリットを生かすことが大切であるということで話を進めてよいか。ほかに小規模ならではの良さはないか。

#### 委員

12～3名で1クラス、教員が2人つくこともあり、担任も2人いる。授業もきちんと進む。一人一人の活動場面も増え、表現できる時間も多し。大人数のクラスと比べると丁寧に見ることができる。一人一人を気にかけることもできている。少人数だから生じる不利な部分は工夫していかなければならない。地域の中に学校があるということを踏まえ、池田の利点を活用した教育を考えたい。

#### 委員長

池田町だからできることについて考えてみたい。

#### 委員

田植えから収穫、そして餅づくりなど一連の農業体験

#### 委員

農業体験や地域の人からは多くの事を学べる。

#### 委員

今年は国体があるので実施していないが、稲作体験は例年行っている。

#### 委員

国体のプレ大会での中学生のボランティア活動はとてもよかった。小学生も関われば良かったと思った。

#### 委員

スキー場があるのに授業ではないのがもったいない。

#### 委員

池田独自の授業が、週一回や月一回でもあるとよい。文化的な面でも自然に関わるものでもよいので、池田にあるものを利用して行えるとよい。

#### 委員

便利な道具などを使わないキャンプなどの体験もよい。

#### 委員

まず、確かな学力をつけてあげなければならない。手をかけること、子どもの育つ芽を摘まないように導くこと、そういう機能が池田にはある。また、池田の文化に実際にふれることや食育も大切である。身体を使うことも大切である。

#### 委員

様々な体験をするのに条件は整っていると思う。少人数であることは、移動したり調整したりするときには大きな利点である。体験をするには目的を明確にした上で進めることが大切である。

#### 委員

中学校でのパンフレットづくりでは自分で考えて作るという良い経験となった。東京の高校との交流も他ではなかなかできないことだと思う。

#### 委員長

本日いただいたご意見には、よりよい人間関係をつくる取組み、小規模な地域の良さを生かす必要性、みんな一緒の時間の大切さ、自分で成長していける子どもを育てる必要性、池田の環境や施設を生かした教育、大人がどのようにして子どもを導くかといったことがあった。今後これらの議論をさらに深めていきたい。

#### 9 次回開催について

10月または11月の予定

#### 10 閉 会